

平成29年度 第1回 豊田市地域経営懇話会 会議録

【日 時】平成29年9月7日(木) 午後2時～午後4時

【場 所】豊田市役所東庁舎6階 東65会議室

【出席者】(委 員) 今野 公介 (豊田青年会議所)  
加藤 博道 (小原地域会議)  
胡桃沢 幸希 (学生によるまちづくりの会)  
杉本 はるみ (豊田市ボランティア連絡協議会)  
鈴木 富久 (豊田市区長会)  
田端 稔 (豊田商工会議所) «副会長»  
寺田 安孝 (あいち豊田農業協同組合)  
長岡 美穂 (T I Aボランティア日本文化紹介グループ)  
三崎 祐子 (豊田市ファミリー・サービス・クラブ)  
湊 裕 (連合愛知 豊田地域協議会)  
村野 政章 (公募委員)  
村林 聖子 (愛知学泉大学現代マネジメント学部准教授)  
山崎 丈夫 (元・愛知学泉大学教授) «会長»

(計13人)

【欠席者】(委 員) 磯 滋 (豊田市PTA連絡協議会)  
津村 美紀 (公募委員)  
西原 香保里 (愛知みずほ大学短期大学部教授)  
花村 善照 (豊田市高齢者クラブ連合会)

【事務局】 藤本 聡 (総務部副部長)  
塚田 良 (総務部行政改革推進課 課長)  
大平 直樹 (総務部行政改革推進課 担当長)

- 【次第】 1 開会  
2 会長あいさつ  
3 新委員の紹介  
4 議事  
(1) 豊田市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略  
実績評価について【報告】  
(2) 「WE LOVE とよた」条例について【報告】  
(3) 第2次地域経営戦略プラン取組実績について【報告】  
(4) 事業・事務の最適化の取組について【報告】  
5 閉会

---

(文責は事務局。訂正することがあります。)

### 【新委員の紹介】

- ・委員による自己紹介

### 【会長及び副会長の選出】

- ・委員からの推薦により山崎委員を会長に、田端委員を副会長に選出

### 【会長あいさつ】

- ・地域経営懇話会は、豊田市全体を一つの地域と捉えて経営していくという考え方のもと、地域における多様な構成員で色々と検討していこうというものであります。これから色々な形で御意見をいただく場面があると思いますので、宜しくお願いいたします。

### 【議事（1）】豊田市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略実績評価 について（報告）

#### ○委員

- ・基本目標③については、「子どもを産む育てる希望の実現」とある方が、産むことと育てることを別で考えて、例えば不妊治療への支援や里親制度等への取組への姿勢が明確に見えるので、良いと思います。

#### ○委員

- ・基本目標に付随する数値目標の進捗状況の基本目標③に関して、0～3歳児を持つ女性の就業継続者割合の値が出ていますが、この値の分母は職場を離れて子育てをしている方全部なのか、将来仕事に戻ることを希望している方だけなのか、どちらなのかを教えてくださいたいです。

また、実績評価シートの「ふるさとへの愛着づくり」のところ、山村部より都市部、女性より男性が市内の農産物を購入するように心がけていると記載がありますが、これはどのような調査をしているのですか。

#### ○説明者

- ・就業割合の分母は、正確にお答えしたいので確認させていただきます。
- ・「ふるさとへの愛着づくり」の調査については、市民意識調査という2年から3年に1度実施している調査があり、市内の18歳以上の方、6,500名にアンケートを行っています。この調査の26年度と28年度の結果を比較して、要因を分析しました。

#### ○委員

- ・まだ始まって2年目の戦略なのでまだ良いのかもかもしれませんが、アプローチの結果どうなったのかを示す結果指標のようなものをどこかで見ていく必要があると思います。結果について調査をし、効果があまり出なかった戦略について、評価し、行動を変えていくというステップを踏むと思いますので、全体の最終的な結果指標を見ていくという視点を持つべきだと思います。

また、例えば、「若者の出会いの場の提供」の評価の仕方が満足度の高さになっていますが、カップルができて初めて成功だと思えます。もちろん数値で測れるものばかりではないと思いますが、評価の指標・KPIの項目が本当にこれでいいのかは今一度見直しの必要があると思います。

## 【議事（2）】「WE LOVE とよた」条例について（報告）

### ○委員

・ちらしの「発信する」というところ、このお座敷での写真は相応しくないのではないのでしょうか。また、ある時に WE LOVE とよた条例について、条例で決まったのでこれに反すると罰せられますよ、というようなことを聞きました。この条例にはそのような効力があるのですか。

### ○説明者

・写真については適切かどうか注意して判断していきたいと思えます。  
・条例という規制をするという趣旨のものも多いですが、本条例は市の施策をみんなで推進しようという意図の条例です。基本的には自由に市民の皆さんに解釈していただき、自由にこのまちの魅力を感じていただき、一緒にこのまちを楽しんでいきましょうというものなので、賛同しかねる場合にも罰則があるものではありません。誤解があるようでしたら、丁寧に説明していきたいと思えます。

### ○委員

・WE LOVE とよたのロゴが使いたいという声があると思えますが、どのような基準で許可しているのですか。

### ○説明者

・基本的に、自由に使っていいことになっています。

### ○委員

・このロゴが付いていると豊田市のお墨付きのように受け取ってしまうのですが、適切でないものに付いてしまう場合もあると思えます。WE LOVE とよたのロゴが使われている場合でも、どこの部局が監修したのかを載せるなど、責任主体をはっきりさせる必要があると思えます。

### ○説明者

・使われ方については、私たちのできる範囲で把握をし、不適切に使用されている場合には指導・助言をしていきたいと思っています。

### ○委員

・そのやりとりこそが行政と市民との共働だと思えますので、市民とのやりとりをしていただきたいと思います。

○説明者

- ・現在、ロゴマークについては商工会議所さんとも相談をさせていただきながら、商標登録を検討しています。そういうことによって、今の懸念にも対応できるのかなと思っています。

○委員

- ・例えば、WE LOVE かるたに企業名を出しているのか、というところも、監修をどこかの市民団体に依頼すればクリアできると思います。企業の宣伝も必要なので、色々な手を使って、どこまでできるのかも考えていただきたいと思います。

【議事（3）】第2次地域経営戦略プラン取組実績について（報告）

○委員

- ・総合計画は8年、市長の任期は4年なのに、第2次地域経営戦略プランが3年なのはなぜなのかを教えてください。また、今後も3年毎に計画していくのでしょうか。

○説明者

- ・3年の理由につきましては、特に法律で決まっているものではなく、平成14年度当初の設定が3年だったためです。必要に応じて5年に延ばしたりと、臨機応変に設定していますので、特に何かに縛られているということはありません。  
しかし、総合計画の両輪としての位置づけもありますので、総合計画との整合をとっていく必要はあると思います。

○委員

- ・特に縛りが無いのであれば、他の計画との関係を考えながら最適なサイクルを検討していただきたいと思います。

【議事（4）】事業・事務の最適化の取組について（報告）

○委員

- ・人件費の削減についての記述が最初に出てきますが、これは何を検討されているのですか。

○説明者

- ・私たち職員の人件費や臨時職員の人件費が含まれますし、仕事を効率化した上での人工（にんく）の減少も含まれます。また、業務のアウトソーシングも一つの手としてはあると思います。

○委員

- ・市しか人件費を出せないような業種も沢山あると思いますので、事業の精査の後に人件費が最終的に削減される方が望ましいのではないのでしょうか。

○委員

- ・企業側から考えると、1番削減しやすいのが人件費です。クラウド化、AI化、機械化が進めば、すぐに業務に必要な人手は削減できると思います。

○委員

- ・ただ、現在雇用が失われているというのも深刻な問題になっていて、IT等に委ねてきた部分が本当に良かったのか、という反省も行われている時期だと思います。確かに人件費の削減は念頭に置かれやすいですが、行政だからこそ人件費の削減が適切でないものもあるのではないのでしょうか。そういった意味で、人件費が一番冒頭にあると、今まで他でやってきた人件費の削減と同じイメージしか持てなくなってしまうのが残念です。

○説明者

- ・人件費、物件費、補助費の並びは優先順位を表している訳ではなく、性質別の予算の順番に倣っているものです。実際の取組では、数々ある補助金や手当の給付、施設の見直しなどが中心になると考えられますが、私たちの人件費も聖域とせず全体を見直していきたいと思います。

○委員

- ・他市町村でも、一度直営ではなくしたものを、やっぱり直営でやるべきだったという反省が行われている場合があるので、そういったことは心配です。

○説明者

- ・豊田市は、市民や企業の皆様に自主的に活動していただき、横から、後ろからその活動を支えるという形で事業を進めることが多くあります。他の都市だと直営事業としてやっていることが豊田市の場合は補助金に置き換わっている場合もありますので、単純に金額の多さで見直すのではなく、慎重に判断していきたいと思います。

○会長

- ・ありがとうございました。それでは、本年度第1回地域経営懇話会の議事は、これにて終了といたします。